

- ◆補欠選挙により、常任理事(理事)候補者1名および理事2名(道東・医育ブロック各1名)を選出
- ◆母体保護法医師指定取扱規程および細則の一部改正、ならびに平成25年度決算につき承認決定

◇総務部◇

第142回定時代議員会を去る6月15日(日)、当医師会館8階会議室において開催した。

冒頭、本間議長により開会宣言があり、議事録署名人(札幌市・神田雄司代議員、空知・中島保明代議員)を指名した。その後、長瀬会長より挨拶があった。

長瀬会長の挨拶

「第142回定時代議員会開催に当たり一言ご挨拶申し上げます。

本日は、お忙しい中、代議員の先生方には全道各地より早朝からご参集いただきありがとうございます。

また、北海道の山谷副知事様には道議会開催直前の大変お忙しいところをお越しいたいただき厚く御礼申し上げます。後ほどご挨拶いただくことになっておりますのでよろしくお願い申し上げます。

本日の代議員会は、最初に6月をもって辞任されます3名の理事ならびに常任理事の先生の後任の理事および常任理事、そして日本医師会予備代議員の選挙を行います。

北海道医師会は昨年4月より新たに一般社団法人として活動を行っております。本日は平成25年度の事業報告ならびに決算の報告を行いご承認をいただくこととなります。よろしくお願い申し上げます。

これまでと異なり、新しい法人制度では新年度の事業開始に当たっての事業計画ならびに予算については執行機関である理事会の責任において行われ、年度終了後の代議員会でその結果についてご意見、ご承認をいただくこととなります。

本年度の事業計画および予算につきましては、既に本年3月の代議員会においてご提示させていただきそれに基づき事業を行っております。

その後、医政報告として現在問題になっているいくつかの問題について述べ、医政ならびに医師会活動一般に関する質疑応答を行います。

本年3月の第141回臨時時代議員会において、日医会員数減少による道医選出の日医代議員数が1名減となったことに対する対応の如何を問われました。これに対しては、道医役員を中心に郡市の先生方にも加わっていただき、早速に会員増を図るプロジェクトチームを作り活動を始めております。皆様にはご協力ご支援をいただきますよう、よろしく願い申し上げます。

先日は地域の医師不足手助けのため、会員の皆様に応援を求めるアンケート調査を行い、多くの先生から応援したいとの回答をいただき具体化のための準備を進めております。御礼を申し上げます。

今月末には日本医師会代議員会が行われます。今回は、役員改選期に当たり、会長をはじめ役員選挙が行われます。北海道からは中川俊男先生を三度副会長に推薦しております。現在の状況からは選挙が行われます。なんとしても続けて活躍してほしいと願っており、当選を期して後押しをしなければなりません。また、会長に横倉先生、監事に中央ブロックの松家先生、裁定委員に後志ブロックの城先生、そして理事に長瀬を推薦しております。皆様方の応援をお願いいたします。

今次国会では、社会保障制度改革として、医療と介護の改革の一括審議がなされ、19に及ぶ多くの法案が衆参議会で、またたく間に法案の通過となりました。十分な議論が尽くされなければならない極めて重要な法案がかくも安易に成立しては、今後に禍根を残さないか懸念されます。医療に係る事故調や地域医療ビジョン作成を含む第6次医療法改正、介護予防の給付縮小と利用者負担増などが心配される介護保険制度の見直しです。

加えて、将来の医療の有り様を根本から変える恐れのある、混合診療については、規制改革会議の提案である選択療養に対する反対が強かったからか、「患者申出療養」と名を変え押し切るやり方は如何なものでしょうか。診療範囲の安易な拡大は日本の世界に誇る医療制度を崩壊させるだけでなく、平等



長瀬会長の挨拶

を旨としてきた日本の社会に、格差を広げることになるでしょう。また、日医がかねてより強く懸念してきた安全性について不安が払拭されるのでしょうか。評価療養で審査に6ヵ月以上かかるものが、これでは6週間に短縮するというのは如何なものでしょうか。

政府が目論む医療に関する経済成長至上主義が日本に幸せをもたらすとは思いません。日本医師会は昨年「日本医師会綱領」を定めました。市場原理主義を押し進める現在のやり方に対して毅然として綱領に基づき医師会の主張を押し通すべきです。

また、安心安全な医療をすべての国民に届けるために、公民を問わず安定した経済的支えが必要であることは論を俟ちません。そのためにも、非課税業種として控除対象外消費税という重い負荷を負う医療機関が、崩壊しないうちに問題を解決することが必要です。来年10月には消費税の税率は10%に増税間違いありません。根本的解決には残された時間は僅かです。医療関係者は個々の思惑は脇に置いて、一致団結し解決を図るよう努力すべきと考えています。

北海道医師会は、これら医療上の多くの問題に対して、国民の医療を守るという基本理念に基づき対応していきたいと考えています。会員のすべての皆様の強いご協力、ご支援をお願い申し上げます」と述べ、続く来賓挨拶では、山谷吉宏副知事が知事の祝辞を代読した。

◇

その後、議案審議に入り、議案第1号「常任理事(理事)候補者補欠選挙に関する件」、議案第2号「理事補欠選挙に関する件」、議案第3号「日本医師会予備代議員補欠選挙に関する件」の各補欠選挙については、梶良行選挙管理委員長より届出受理状況報告の後、承認した。(選挙結果は、前号掲載の「北海道医師会告示第106号」のとおり)

また、議案第4号「日本医師会代議員に欠員が生



来賓挨拶(北海道知事代理:山谷副知事)

じた際の補充に関する件」、および議案第5号「母体保護法医師指定取扱規程および細則の一部改正に関する件」については、理事者提案のとおり承認された。

次いで、報告(1)平成25年度事業報告については、理事者から詳細な報告が承認され、また、議案第6号「平成25年度決算に関する件」については、関連する、報告(2)平成25年度公益目的支出計画実施報告、ならびに、報告(3)監査報告の後、決算委員会における詳細な審議を経て、提案どおり承認された。

その後、議案第7号「当面の医療政策に関する件」では、「総論(笹本常任理事)」、「新たな財政支援制度(新基金)(藤原副会長)」、「病床機能報告制度と地域医療構想(ビジョン)(深澤副会長)」、「地域枠制度の安定的な運営に向けて-地域枠医師のキャリア形成に配慮した配置先決定システム等の構築-」(小熊副会長)、「消費税率10%時への対応策」(岡部常任理事)について詳細に説明があり、最後に笹本常任理事より本代議員会の名において決議文作成の提案がなされた。

続いて、代表質問3件ならびに一般質問5件を受け、理事者からそれぞれ答弁が行われた。

◇ 代表質問 ◇

1. 楯 秀 貞 代議員(道南ブロック)
「過疎地での、在宅での看取りを支援するための方策について」
(答弁者:目黒常任理事)
2. 松 村 茂 樹 代議員(中央ブロック)
「新たな財政支援制度(新基金)について」
(答弁者:藤原副会長)
3. 原 田 一 道 代議員(道北ブロック)
「病床機能報告制度と地域医療ビジョン策定に係る道医師会の対応について」
(答弁者:深澤副会長)

◇ 一般質問 ◇

1. 宮村拓郎 代議員 (渡島)
「北海道における日本脳炎ワクチンの定期接種未施行に関して」
(答弁者：三戸常任理事)
2. 三谷郁生 代議員 (札幌市)
「患者申出療養 (仮称) の創設について」
(答弁者：笹本常任理事)
3. 大道光秀 代議員 (札幌市)
「同一日同一建物の訪問診療問題について」
(答弁者：橋本常任理事)
4. 高橋文雄 代議員 (札幌市)
「総合法案への日医の対応について」
(答弁者：笹本常任理事)
5. 工藤峰生 代議員 (札幌市)
「医療事故調査制度の法制化について」
(答弁者：水谷常任理事)

質問終了後、起草委員会で検討した決議案 (別掲) を採択した (この決議文は日本・都府県・都市医師会、政府関係、政党、国会・道議会議員、知事、道内自治体首長、「日本の医療を守る道民協議会」構成団体およびマスコミほか関係各方面に送付し、各項目の実現に向けて要請した)。

最後に、本日をもって退任される渡邊常任理事、堀理事、飯塚理事より挨拶の後、長瀬会長より閉会挨拶が行われ本代議員会の全日程を終了した。

〈母体保護法医師指定取扱規程および細則の一部改正、決算関係資料、質疑応答等は、順次当会ホームページに掲載予定)

◇

なお、本代議員会終了後に、平成26年度第3回理事会が開催され、常任理事候補者の櫻井晃洋氏が、常任理事として選定された。

決 議

医療を取り巻く環境が、今後ますます厳しさを増そうとしているなか、われわれ北海道医師会代議員会は、国民の健康を守るため、代議員総意のもと、以下を決議する。

記

- 一、消費税10%時の対応は医療機関の存続に重大な影響を及ぼすことから、診療報酬補填方式には断固反対する
- 一、新たな財政支援制度 (新基金) の効率的、弾力的な運用により、地域の医療・介護の充実・発展に努める
- 一、新設間近の医療事故調査制度においては、司法の介入を招かぬよう院内事故調査委員会の適切な運用をはかる
- 一、新たな患者申出療養 (仮称) は、国の責任において安全性・有効性を厳しく確認・評価されるべきであり、安易な導入は認められない
- 一、医療分野への株式会社参入を実質認めることになる非営利ホールディングカンパニー型法人制度に断固反対する
- 一、国民皆保険制度の堅持等、医師会の主張する医療政策実現のため、医師会の更なる組織強化をはかる

平成 26 年 6 月 15 日

一般社団法人北海道医師会
第 142 回定時代議員会